

2月8日 （ 土 ）	2月9日 （ 金 ）	2月10日 （ 土 ）	2月11日 （ 日 ）	2月12日 （ 月 ）
コンペティション部門入賞作品上映	特集 ◆ カメラマン	特集 ◆ “Democracy”について	特集 ◆ “Democracy”について	特集 ◆ Yahoo! 短編ドキュメンタリー選
10:00— 入賞作品は2024年1月下旬に公式サイトにて発表されます。作品の総時間によっては、上映開始時刻を遅らせる可能性があります。詳しくは公式サイトをご参照ください。	11:00— カメラを持った男たち —関東大震災を撮る— 81分	11:00— ハマのドン 100分	10:00— 三里塚のイカロス 138分	10:30— Yahoo! 短編ドキュメンタリー選 計45分
	12:25—トーク 村山英世 井上実 山崎裕	12:40—トーク 松原文枝	12:20—トーク 代島治彦	11:15—トーク 久保田徹 前田亜紀 高倉天地 金川雄策
	特集 ◆ “Democracy”について	特集 ◆ “Democracy”について	特集 ◆ “Democracy”について	山形国際ドキュメンタリー映画祭2023大賞作品
	13:30— 私はあなたのニグロではない 93分	13:45— 愛国者に気をつけろ! 鈴木邦男 78分	13:15— 救いの手 統一教会と富山政界 52分 ★上映は入場無料ですが上映後トークは有料です。 チケットをお持ちの方から優先入場となります。	13:00— 何も知らない夜 100分
	15:05—トーク 能條桃子	15:05—トーク 中村真夕	—入れ替え— 14:25—トーク 数家直樹 田原総一朗	
	特集 ◆ “Democracy”について	大島新 ◆ セレクション	諏訪敦彦 ◆ セレクション	【緊急上映】ウクライナ
	16:15— 女たちの証言 —労働運動のなかの先駆的的女性たち— 94分	16:10— シン・ちむどんどん 98分	15:30— こどもが映画をつくるとき 116分	15:15— マリウポリ 7日間の記録 112分
	17:50—トーク 鈴木裕子	17:50—トーク 大島新 ダースレイダー プチ鹿島	17:30—トーク 諏訪敦彦 井口奈己	17:10—トーク 相川智 山崎裕
18:15— コンペティション部門 表彰式				
オープニング上映				
是枝裕和 ◆ セレクション	森達也 ◆ セレクション	金平茂紀 ◆ セレクション	秋山珠子 ◆ セレクション	安田菜津紀 ◆ セレクション
19:00— ヤジと民主主義 劇場拡大阪 100分	19:00— ★ 無料参考上映 メディアの敗北 —沖縄返還をめぐる密約と12日間の闘い— 45分 ★上映は入場無料ですが上映後トークは有料です。 チケットをお持ちの方から優先入場となります。	19:00— キエフ裁判 106分	18:30— 蟻の蠢き 120分	18:10— 【緊急上映】パレスチナ ガザ 素顔の日常 92分
	—入れ替え— 20:00—トーク 森達也 土江真樹子	20:50—トーク 金平茂紀	20:30—トーク 秋山珠子 佐藤信	19:45—トーク 安田菜津紀 関根健次 オンライン参加
20:40—トーク 是枝裕和 山崎裕侍				

ZA-KOENJI
Documentary
Festival

「座・高円寺」
ドキュメンタリー
フェスティバル

2月8日（ 土 ）
12日（ 月 ）
タイムテーブル

特集 ◆
“Democracy”
について



「★無料参考上映」の作品に関しては、上映のみ無料にてご覧いただけます（上映後トークは有料です）。入場はトークのチケットをお持ちの方から優先し、満席となった場合は入場をお断りします。

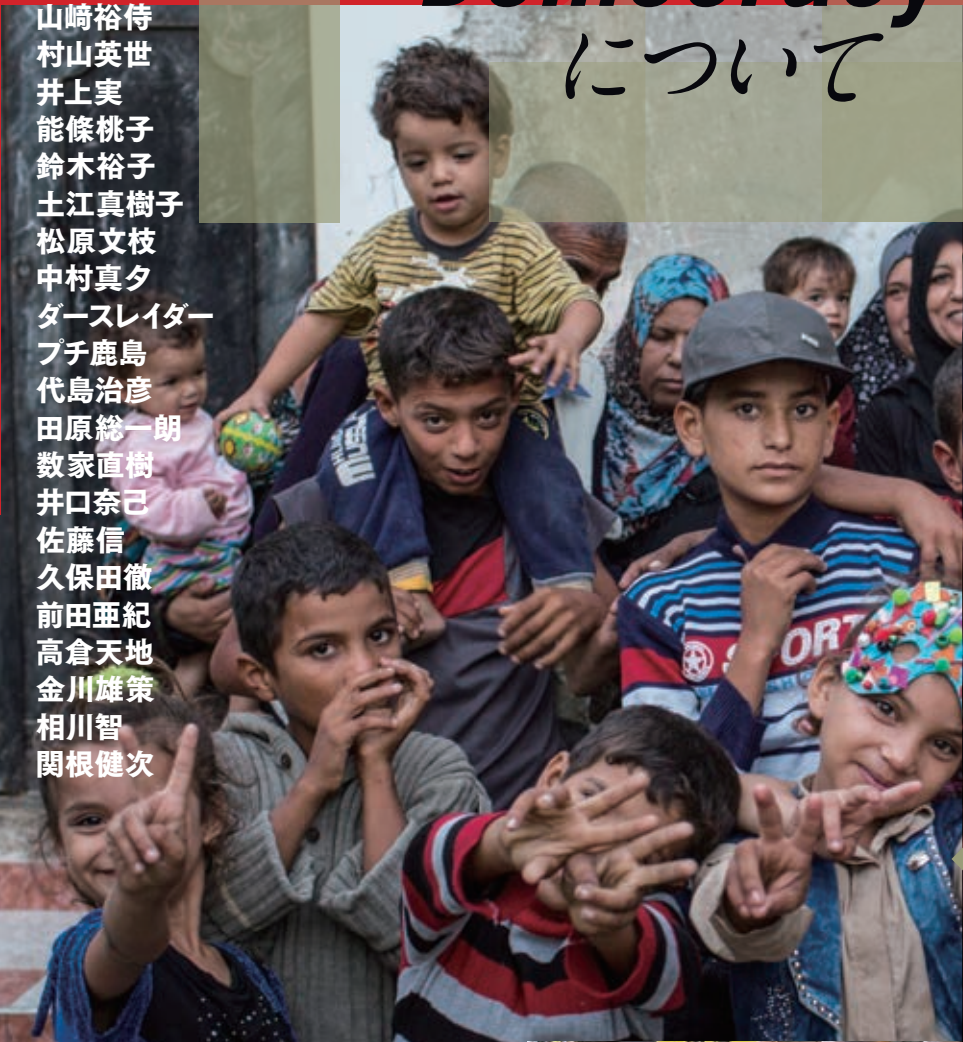
●やむを得ない事情により、プログラム及び来場ゲストが変更になる場合がございます。

●全プログラムとも録画、録音機器、及びPCの会場への持ち込みは禁じられています。

ZA-KOENJI
Documentary
Festival
Vol.

「座・高円寺」
ドキュメンタリー
フェスティバル

特集 ◆
“Democracy”
について



山崎裕侍
村山英世
井上実
能條桃子
鈴木裕子
土江真樹子
松原文枝
中村真夕
ダースレイダー
プチ鹿島
代島治彦
田原総一朗
数家直樹
井口奈己
佐藤信
久保田徹
前田亜紀
高倉天地
金川雄策
相川智
関根健次

2024年 1月20日（ 土 ） チケット発売開始

前売1回券一般¥1,500（当日¥1,800） 高校生以下¥1,000（前売・当日ともに）
〈全回日時指定・整理番号付き自由席・前売券の販売は上映の前日まで〉
ゲスト・セレクション部門／特集上映部門／コンペティション部門入賞作品

◆高校生以下チケットを購入した方は入場の際に年齢確認できるものをご持参ください。

◆コンペティション部門入賞作品は、1枚のチケットで全ての入賞作品をご覧いただけます。

◆「無料参考上映」表記のある作品は、無料でご覧いただけます。ただし、上映後のトークイベントは有料です。チケットをお持ちの方から優先入場となります。トークイベントの際には上映をご覧になったお席での観覧をお願い致します。

◆障がい者手帳をお持ちの方は、座・高円寺チケットボックス（窓口・電話）でご予約頂くと、1割引きになります。

◆車いすスペースをご用意しております。（定員あり／要予約）。

車いすの大きさに制限がございます。詳細は座・高円寺チケットボックスへお問合せ下さい。

開場時間より、チケット券面に書かれている整理番号順に入場していただきます。

会場での整理番号配布は行いません。

整理番号の順番は前売り券販売開始からの購入順となります。

主催・お問い合わせ先

「座・高円寺ドキュメンタリーフェスティバル」実行委員会
〒107-0052 東京都港区赤坂8-12-20 和晃ビル1階
（株）ドキュメンタリージャパン内

TEL:03-5570-3551 | FAX:03-5570-3550

Mail:za.koenji.documentary@gmail.com

〔公式HP〕 <http://zkdf.net>

[@zkdf_net](https://zkdf.net)



チケット取り扱い

「座・高円寺チケットボックス」月曜定休

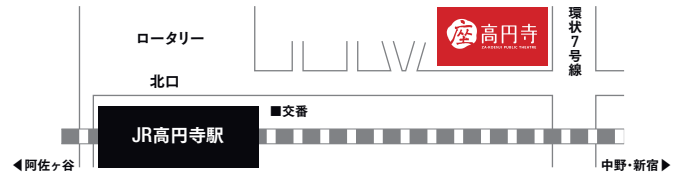
窓口 10:00—19:00
電話予約 03-3223-7300（10:00～18:00）
WEB <https://za-koenji.jp/>

◆前売券は、全ての取扱場所で、上映前日までの販売となります。

◆前売券が完売した場合、当日券の販売はございません。

◆お客様都合による前売り券の払い戻し、交換、再発行はいたしません。

◆フェスティバル期間中（2月8日～11日）は19時以降、地下会場の受付にて最終回終了時間まで前売り券を販売します。



会場 | 座・高円寺2 〒166-0002 杉並区高円寺北2-1-2 地下2階
TEL:03-3223-7500 | HP:<https://za-koenji.jp/>
| 会場へのアクセス | JR中央線「高円寺」駅北口徒歩5分
土日、祝日の中央線快速は高円寺駅に停車しませんのでご注意ください。

映画・テレビの枠を超えた
ドキュメンタリー映像の祭典

開催期間 / 2024年

2月8日（ 土 ） 12日（ 月 ）

zkdf.net

“Democracy”

主催 座・高円寺ドキュメンタリーフェスティバル実行委員会
共催 (株)ドキュメンタリージャパン／(株)104
提携 NPO法人 劇場創造ネットワーク／座・高円寺
協力 (株)neo P&T
助成 公益財団法人東京都歴史文化財団
映像提供 KADOKAWA
記録映画保存センター
マジックアワー
彼方舎
QAB琉球朝日放送
太秦
シグロ
ネツゲン
サニーフィルム
スコブル工房
北日本放送
ナミノリフロ
山形国際ドキュメンタリー映画祭
Yahoo! JAPAN CREATORS Program
アーク・フィルムズ
ユナイテッドピープル

“Democracy”について

特集 ◆ カメラマン 2.9 金 11:00 | 上映

カメラを持った男たち ―関東大震災を撮る―

監督:井上実 2023年|81分

2023年、発生100年となった関東大震災。震災直後の凄まじい被害や、逃げ惑う人々を記録したフィルムが残されていた。撮影したのは3人のカメラマン。カメラを回しながら、彼らは何を見、何を葛藤していたのか。当時の映像を解説し、3人の証言を現代に甦らせながら、記録することの意味を問いかける。



12:25 ―トーク
ゲスト 村山英世 本作制作 | 井上実 本作監督
山崎裕 プログラムディレクター

特集 ◆ “Democracy”について 2.9 金 13:30 | 上映

私はあなたのニグロではない

監督:ラウル・ベック 2016年|93分|アメリカ・フランス・ベルギー・スイス

アメリカ黒人文学を代表する作家、ジェームズ・ボールドウィンの原作を映画化した本作。30代の若さで暗殺された公民権運動のリーダー、メドガー・エヴァース、マルコムX、キング牧師の生き様を追いながら、60年代の公民権運動から、現在に至るまで連続と続くアメリカの人種差別と暗殺の歴史に迫る。



15:05 ―トーク
ゲスト 能條桃子 NO YOUTH NO JAPAN代表
FIFTYS PROJECT代表

特集 ◆ “Democracy”について 2.9 金 16:15 | 上映

女たちの証言 ―労働運動のなかの先駆的女性たち―

演出:羽田澄子 1996年|94分

1982年、社会主義研究者・石堂清倫氏の主催で、大正から昭和にかけての大衆的労働運動の発足に加わった、先駆的な女性活動家たちの座談会が開かれた。集まったのは、丹野セツ、鍋山歌子、福永操、山内みな。のちに追加撮影を加え、当時経験した差別や隷属を、できる限りの彼女たちの言葉で記録した作品。



17:50 ―トーク
ゲスト 鈴木裕子 本作監督

特集 ◆ “Democracy”について 2.10 土 11:00 | 上映

ハマのドン

監督:松原文枝 2023年|100分

2019年、「ハマのドン」と呼ばれる91歳の政治家・藤木幸夫が、横浜港へのカジノ誘致阻止に向け立ちあがった。横浜の港湾荷役を取り仕切り、誘致を進める政権中枢にも顔が利く保守の重鎮は、なぜ反対したのか? 2021年の横浜市長選で市民と手を取り合い、誘致を覆すまでの軌跡を追いながら、彼の真意に迫る。



12:40 ―トーク
ゲスト 松原文枝 本作監督

特集 ◆ “Democracy”について 2.10 土 13:45 | 上映

愛国者に気をつけろ! 鈴木邦男

監督:中村真タ 2019年|78分

右翼団体「一水会」の代表として長年活動しながらも、旧オウム真理教信者や左派活動家など、幅広い人脈を持っていた故・鈴木邦男に、監督が2年間密着する。彼の住むアパートに通い、人生や思想遍歴を聞きながら、ボーダレスな存在だった鈴木が、不寛容な方向に進む日本社会で果たした役割を考察する。



15:05 ―トーク
ゲスト 中村真タ 本作監督

特集 ◆ “Democracy”について 2.11 日 10:00 | 上映

三里塚のイカロス

監督:代島治彦 2017年|138分

かつて激しく展開された「成田空港建設反対運動」を闘った人々の現在を描く。セクトの責任者や管制塔占拠事件の実行部隊、支援に入った農家の若者と結婚した女性、空港公園職員など、これまで語られてこなかった“あの時代”と“ひとりひとりの人生”に耳を傾け、歴史の闇に光を当ててを試みる。



12:20 ―トーク
ゲスト 代島治彦 本作監督

特集 ◆ “Democracy”について 2.11 日 13:15 | 上映

救いの手 統一教会と富山政界

ディレクター:数家直樹 2023年|52分|北日本放送

全国有数の「保守王国」とされる富山県。安倍元首相の銃撃事件を機に行った取材で見えてきたのは、旧統一教会の関連団体が素性を隠し、彼らの理想とする社会を実現するために、富山政界に深く入り込んでいる実情だった。地元局ならではの綿密な調査報道で、本来の政治や政治家があるべき姿を鋭く問う。



―入れ替え― 14:25 ―トーク
ゲスト 数家直樹 本作ディレクター
田原総一郎 ジャーナリスト

特集 ◆ Yahoo! 短編ドキュメンタリー選 2.12 月 10:30 | 上映

境界のフィルムメイカーたち

監督:久保田徹 2023年|11分

唯一無二の選挙記者

監督:前田亜紀 2022年|11分

エリザベス

監督:高倉天地 2019年|10分

※他、3分の短編ドキュメンタリー3本程併映予定

祖国を追われても創作を続ける2人の映像作家を見つめた「境界のフィルムメイカーたち」。長年の選挙取材で知られる畠山理仁を取材した「唯一無二の選挙記者」。長崎県大村の入管で起きた死の真相を確かめようと立ち上がる難民女性を追った「エリザベス」など、民主主義を問う短編作品を一挙上映。



11:15 ―トーク
ゲスト 久保田徹 前田亜紀 高倉天地 本作監督
金川雄策 Yahoo!ニュースドキュメンタリーチーフ・プロデューサー

特集 ◆ 山形国際ドキュメンタリー映画祭2023大賞作品 2.12 月 13:00 | 上映

何も知らない夜

監督:バヤル・カバリーヤー 2021年|100分|インド・フランス

学生エルの恋人へあてた手紙という架空の物語を通じて、観客はカースト制の現実、2016年に実際に起こった政府への抗議運動や学生運動の弾圧事件へと導かれていく。抵抗する者たちの情熱や信念、映画作家たちの意志の記録とともに、インドの現在を描き出す。山形国際ドキュメンタリー映画祭2023大賞受賞作品。



【緊急上映】ウクライナ 2.12 月 15:15 | 上映

マリウポリ 7日間の記録

監督:マンタス・クヴェダヴィチウス 2022年|112分|リトアニア・フランス・ドイツ

2022年2月24日、ロシアのウクライナ侵攻によって、廃墟と化した東部ドンバス地方のマリウポリ。その戦場下で生きる人々の7日間を、私情や感情を交えずに記録した、迫体験的な作品。映るのは、死と隣り合わせの悲惨な状況でも、おしゃべりを交わし、助け合い、祈り、翌朝を待つ住民たちの姿だった。



17:10 ―トーク
ゲスト 相川智 本作配給
山崎裕 プログラムディレクター

民主国家と認識されている日本、しかし今の日本に真のDemocracy(民主主義)は根付いているのだろうか? 太平洋戦争の敗戦後にGHQによって進められた戦後民主主義、多数決原理には少数意見の尊重が伴うと教えられた。選ばれた代表は支持した者たちだけの代表ではなく、反対者も含めたものたちの代表でもあると。その後、戦後民主主義は否定的に捉えられ始めた時期もあった。改めて今“Democracy”を考えてみたいと思います。

――山崎 裕(プログラムディレクター)

ゲスト◆セレクション

◆セレクション
是枝裕和

オープニング上映 2.8 木 19:00 | 上映

20:40 ―トーク
ゲスト 是枝裕和 映画監督
山崎裕待 本作監督

©HBC/TBS



©藤井秀

◆セレクション
森達也



◆セレクション
大島新



ヤジと民主主義 劇場拡大版
制作・編集・監督:山崎裕待 2023年|100分|HBC北海道放送
2019年7月、札幌市で安倍元首相の演説に対し声をあげようとした男性が警察に排除され、増税反対を訴えた女性も、その後警察官につきまとわれるなどの妨害を受けた。警察はどういう法的根拠で排除ができるのか? 一体何が起きているのか? 当事者の思いやその後の裁判取材を通して“表現の自由”を考える。

メディアの敗北 ～沖縄返還をめぐる密約と12日間の闘い～
ディレクター:土江真樹子 2003年|45分|QAB琉球朝日放送
1972年、沖縄返還をめぐる日米の「密約」を裏付ける機密文書が流出した「外務省機密漏洩事件」で、違法に情報を入手したとして逮捕され、2023年に亡くなった元毎日新聞記者・西山太吉氏を取材。現在は存在したとされる「密約」を再び表舞台に上げた番組から国民の知る権利やジャーナリズムのあり方を問う。

★無料参考上映(上映後トーク有料)
―入れ替え―
20:00 ―トーク
ゲスト 森達也 映画監督、作家
土江真樹子 本作ディレクター

2.10 土 16:10 | 上映

17:50 ―トーク
ゲスト 大島新 本作プロデューサー
ダースレイダー 本作監督・出演
ブチ鹿島 本作監督・出演

©「シン・ちむどん」製作委員会

シン・ちむどんどん

監督・出演:ダースレイダー、ブチ鹿島 2023年|98分

ラッパーのダースレイダーと時事芸人のブチ鹿島が候補者に突撃取材をする選挙ドキュメンタリーの第2作。舞台は2022年9月の沖縄県知事選。ふたりは争点となった米軍基地移設問題について、現地の人に話を聞こうと、座り込み抗議が続く辺野古に向かう。主権者は誰なのか? 沖縄から日本の民主主義を問う。

◆セレクション
金平茂紀



2.10 土 19:00 | 上映

20:50 ―トーク
ゲスト 金平茂紀 ジャーナリスト

キエフ裁判

監督:セルゲイ・ロズニツァ 2022年|106分|オランダ、ウクライナ

1946年1月、ナチ関係者15名が人道に対する罪で裁かれた「キエフ裁判」。ユダヤ人虐殺などの戦争犯罪の首謀者を断罪した国際軍事裁判で、数々の残虐行為が明るみに出た中、被告人弁論では、自己弁明に終始する者、仲間に罪を擦りつける者が出る。その姿からハンナ・アーレントの〈凡庸な悪〉が露わになる。

◆セレクション
諏訪敦彦



◆セレクション
秋山珠子



2.11 日 15:30 | 上映

17:30 ―トーク
ゲスト 諏訪敦彦 映画監督
井口奈己 本作監督

©テレビ朝日

こどもが映画をつくるとき

監督:井口奈己 2021年|116分

コロナ禍の2020年12月に開催されたワークショップ「こども映画教室」。そこに参加した12名の子供たちが2チームに分かれ、3日間かけて映画を作り上映するまでの姿を追いかけた、子供が主役のドキュメンタリー。監督は、本作が初のドキュメンタリー作品になる『ニシノユキヒコの恋と冒険』の井口奈己。

2.11 日 18:30 | 上映

20:30 ―トーク
ゲスト 秋山珠子 神奈川大学 准教授
佐藤信 劇作家 / 演出家

©山形国際ドキュメンタリー映画祭

蟻の蠢き

監督:徐若清(シュー・ルオタオ)、王楚男(ワン・チュウユー) 2019年|120分|中国
中国・陝西省で、国有通信会社「チャイナテレコム」を解雇された56人の労働者たちによる権利申し立てや抗議の戦いと、彼らを支援する20数名のアーティスト、そして1人の弁護士活動を記録する。アーティストたちは芸術の社会的役割を自らに問い、アートを通じ労働者の訴えを社会に届けようと試みる。

◆セレクション
安田菜津紀



【緊急上映】パレスチナ 2.12 月 18:10 | 上映

19:45 ―トーク
ゲスト 安田菜津紀 認定NPO法人Dialogue for People副代表
フォトジャーナリスト
関根健次 本作配給 オンライン参加

©Canada Productions Inc., Real Film Ltd.

ガザ 素顔の日常

監督:ガリー・キーン、アンドリュー・マコーネル 2019年|92分|アイルランド・カナダ・ドイツ
「天井のない監獄」と呼ばれるパレスチナ人約200万人が暮らすガザ地区。イスラエルが壁で囲み封鎖したために物資は不足し移動の自由もなく人々は貧困にあえいでいる。しかし、そこにはサーファーやラッパー、普通の大学生たちが、平和を望み、ただ普通に暮らしたいと、日常を力強く生きようとしている。

第15回「座・高円寺」ドキュメンタリーフェスティバル
コンペティション部門入賞作品上映
映画・テレビ・自主制作――新しい才能を全国から発掘!

2.8 木
10:00 ―入賞作品上映
18:15 ―入賞作品・大賞表彰式
18:30 ―終了予定

【審査員(予定・敬称略)】
佐藤信(劇作家・演出家)／橋本佳子(映像プロデューサー)／足立正生(映画監督)
大島新(ドキュメンタリー監督)／林加奈子(元 映画祭ディレクター)